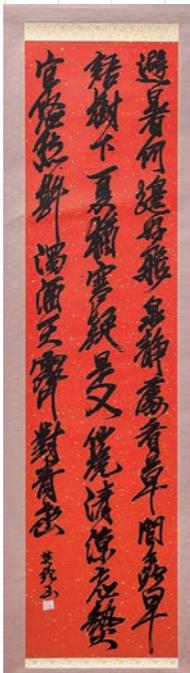


第10回 西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展

今回は第10回の記念展、また来年の大河ドラマの放送、明治維新150年を迎えることもあり、関心が高く、昨年より300点余り多い、2,171点の応募が県内外からありました。審査の結果、西郷南洲大賞など601点が決定。NHK鹿児島放送局のご協力で、小学2年生「せごどん」、中学1年生「敬天愛人」に同放送局賞が設けられました。

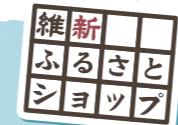
応募の全作品を西郷南洲が没した9月24日を挟む30日間、9月23日から10月22日まで当館で展示しました。期間中、たくさんの方が来館され、作品を熱心に見られる姿が見られました。

同22日の表彰式では、特別賞を受賞された約80名の方に賞状を授与しました。来年ももっとパワーアップした書道展にしたいと思います。



【西郷南洲大賞】
高校二年 蔵満 英絵さん

新商品の紹介



幕末明治 鹿児島県謎解き散歩

2018年大河ドラマの舞台、鹿児島県は幕末明治の史跡が数多く残されています。本書は西郷隆盛、大久保利通など、薩摩藩ゆかりの人物とともに鹿児島県内の史跡をめぐります。読めば鹿児島を旅したこと間違いなしの1冊です!休日は本書を片手に散歩を楽しんでみては?

温故地新

ふる故きを温ね、地元を新たに。

■維新ふるさと館古書店

今年は西郷隆盛関係の本が多く並び、観光客にも大変好評でした。市民・県民の皆さまからは「待っていました!」との声も。ありがたいことに「維新ふるさと館古書店」も地元の皆さまに定着しつつあります。



■ミュージアムキャラクターアワード2017

「たか&とし」全国1位

年に1度行われる博物館・美術館のキャラクター日本一を決める「ミュージアムキャラクターアワード2017」に当館も「たか&とし」でエントリー。全国37館のキャラクターの中から5,839票の得票で見



事1位をいただきました。

たくさんの「キバレ!」の応援メッセージ。中には「大河ドラマが楽しみ」との声も多数。明治維新150年、大河ドラマ「西郷どん」の放送に向けて、「たか&とし」も盛りあげ隊に一役買っています。

■薩摩維新ふるさと博 大盛況!

「薩摩維新ふるさと博」も今年で4回目の開催。明治維新当時の衣装を着たキャストが会場内を歩いておもてなし、本当に明治維新时期にタイムスリップをしたような気分が味わえるこのイベントは、大人にも子どもにも大好評。関連イベントとして当館で開催されたトークショーには福田賢治特別顧問も登壇。東川隆太郎氏と安川あかね氏と「この地で育った偉人たちの小話」をテーマに笑いあり、知らなかつた史実に驚きありの1時間半でした。



●観客100人余りは大満足

ISHIN 維新

明治維新を分かりやすく、楽しく

維新ふるさと館情報紙

【No.23】

■平成29年(2017年)秋季号
■発行:鹿児島市維新ふるさと館
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
TEL.099-239-7700/FAX.099-239-7800
<http://www.ishinfurusatokan.info>

西郷と庄内「徳の交わり」



徳の交わり(鹿児島市武二丁目)

維新を歩く

西郷隆盛の教え「南洲翁遺訓集」を作成し、西郷の偉大さを世に知らしめたのは、戊辰戦争で会津より遅くまで抵抗した庄内藩(鶴岡市)の人々でした。

そもそも戊辰戦争は、江戸市中の治安維持に当たっていた庄内藩が、市中を攪乱する浪士たちの逃げ場であった薩摩藩邸を焼き討ちしたことによる。これが大阪城に待機する1万5千の幕府軍に伝わり、鳥羽・伏見の戦いが始まったのである。

それ故、庄内藩は降服式に当たり、薩摩の仕返しを予想、藩主以下切腹覚悟で臨んだが、参謀の黒田清隆は、「戦い終われば敵も味方もない」とする西郷の命により、刀帯や外出までも許す寛大な措置をした。また、黒田は伝達後に若干17歳の藩主酒井忠篤を上座に据え、我が藩主の如くふるまい敬意を払った。

これに感激した庄内藩は、明治3年藩主以下76名が来鹿し教えを請い、さらに、明治8年には家老(中老)の菅実秀(臥牛)ら8名が来鹿し、武の西郷屋敷で交流した。

西郷は明治10年、西南戦争により賊名を浴びた。その間、庄内の人々は西郷の教えを「南洲翁遺訓集」と

して集約、明治22年明治憲法発布による恩赦によって西郷の賊名が解かれるや否や、翌年からその遺訓集を持って全国を廻り、西郷の真の教えと生き方を全国に広める活動をしたのである。

武町の西郷屋敷には、平成3年11月建立された西郷と庄内藩の菅実秀の2人が対座した座像「徳の交わり」が建っている。この座像と全く同じものが山形県酒田市の南洲神社にも建てられている。酒田市は、当時庄内藩の商都として栄えていたところである。

2人の端正な座像は、人として最も大切な信頼と慈愛の大切さを教えるとともに、旅する人々の郷愁を癒す場ともなっている。また、鹿児島市と鶴岡市は昭和44年11月に兄弟都市の盟約を結び、毎年交流を重ねている。

西郷は明治6年、過去幾多の苦難を乗り越え、やっと心休まる郷里に帰ってきたという安堵感を、次のような意味の漢詩にしている。「誤って京などへ行き、名利を求めるような生活を送る結果となったが、この我が家に帰ってきて松風に吹かれていると、世間で汚れた心身を松風が洗い流してくれるような気がする。このすがすがしい風音を何と3年もの間聞いていなかった」

(文/福田賢治維新ふるさと館特別顧問)



鶴岡市・酒田市訪問カメラルポ

南洲翁遺訓のふるさとを訪ねて

先般“南洲翁遺訓のふるさと”山形県庄内地方(鶴岡・酒田市)を訪ねました。

南洲翁遺訓は西郷隆盛が、生前語った教訓や言葉を蒐録したもので、

旧庄内藩の藩士らによって編集・刊行され、

全国行脚によって頒布したといわれています。

今回の訪問で10人余りの方とお会いしましたが、

皆さんの西郷先生に対する尊敬の念、

想いの熱さには圧倒されました。

① 西郷隆盛と菅実秀の対話坐像～徳の交わり

山形県酒田市の南洲神社「徳の交わり」の像。全く同じ坐像が鹿児島市武二丁目にある西郷屋敷跡にもある。



② 公益財団法人莊内南洲会 南洲神社

南洲翁遺訓の研究・継承に尽力した長谷川信夫氏(公益財団法人莊内南洲会第2代理事長)などが昭和51年に創建。隣接する南洲会館の資料室には西郷の墨蹟、遺品など貴重な資料を展示。



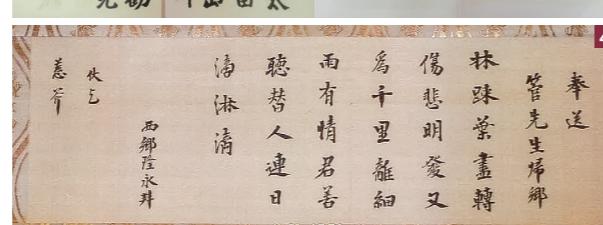
③ 南洲翁遺訓(二版、莊内南洲会蔵)

遺訓は明治23年に刊行。41章と追加章からなり、その内容は人生訓、政治、経済、教育、リーダー論など多方面にわたる。



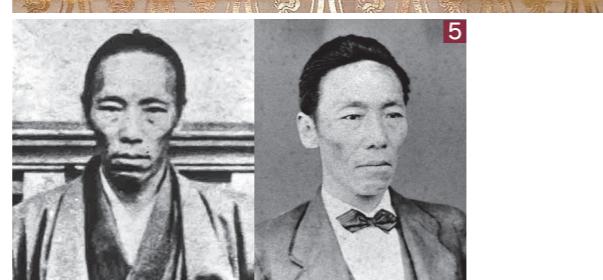
④ 菅家にある西郷の書

明治4年4月に上京した西郷は菅実秀と初めて面会。同年9月酒田県の権大参事になり帰郷する菅に西郷が送った送別の詩「奉送 菅先生帰郷」。～明日は君が發つて、千里の遠い所へ離れてしまうかと思うといよいよ胸が痛む。君善く耳を傾けて聞け、……。～本名の隆永を使用している珍しい書。



⑤ 菅実秀(1830~1903年)

山形県鶴岡市生まれ。庄内藩中老、酒田県権大参事。戊辰戦争後の庄内藩に対する西郷の寛大な処置を知り、西郷を尊敬。その後交流を重ね、徳の交わりを結ぶ。維新後、地域救済のため松ヶ岡開墾など各種事業を興す。



第6回維新ふるさと館歴史シンポジウムを開催します。

テーマ：温故知新～西郷南洲翁遺訓～

- とき：2017年12月3日(日)13:30～
- ところ：サンエールかごしま
- 定員：400名(応募者多数の場合は抽選)

- 応募方法：ハガキかFAXで維新ふるさと館「歴史シンポジウム」係へ
- 問い合わせ：維新ふるさと館 ☎099-239-7700

奄美大島史跡調査結果報告

西郷隆盛の足跡をたどるために奄美大島に行きました。

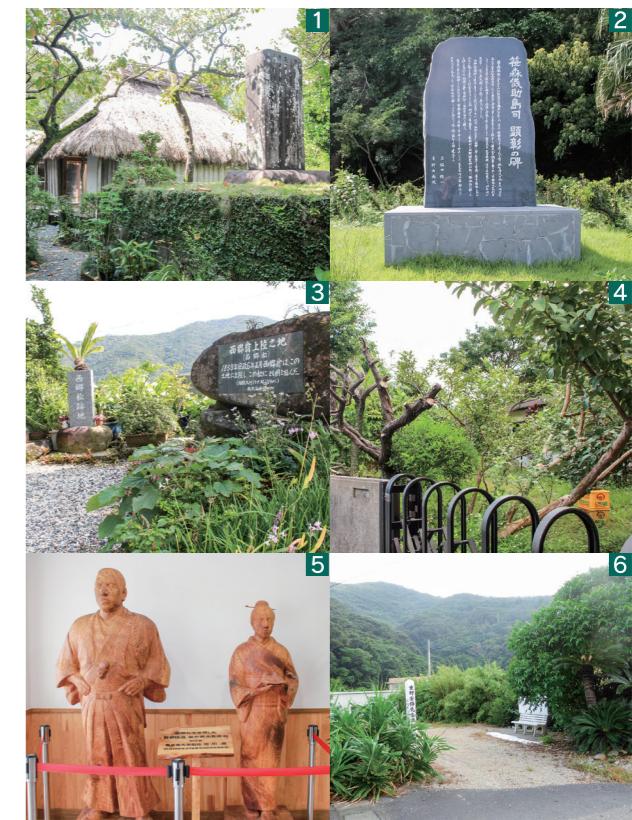
西郷が愛加那と暮らした南洲流謫跡¹を訪問し、子孫の方に詳しいお話を伺いました。宅地内には、勝海舟の石碑、西郷手植えの緋寒桜などがあり、歴史の重みを感じました。

その後、奄美大島の第5代島司で経済や教育問題解決に尽力した笠森儀助の石碑²を見学し、西郷が龍郷に着いたときに船を繋いだという通称「西郷松³」を訪問しました。海岸近くにあるために今では枯死てしまっているが、石碑が建てられ由来が説明されていました。

お遊羅験動で島流しにあった名瀬市の名越左源太の流謫地跡⁴を訪ねました。名越は島にいる間、奄美の自然や風土、動植物を調査し「南島雑話」を著したこと有名です。龍郷町生涯学習センター内の「りゅうがく館」には、枯れた西郷松で作られた西郷と愛加那の木像⁵も展示されていました。

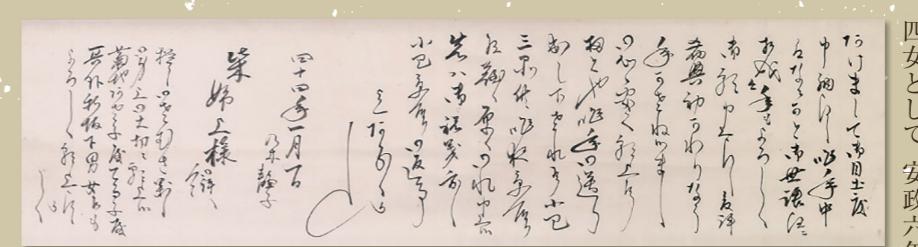
重野安繹流謫地跡⁶には、石碑が立っていました。重野安繹は、西郷と同じ時期に斎彬に仕え、西郷を訪問したこと鬱屈していた西郷も随分影響を受けたと言われています。

今回の調査で、奄美大島の西郷に関する史跡や奄美的歴史に触れることができ、貴重な史料を得ることが出来ました。



平成二十八年(2017)十一月、太平洋戦争のため、金属供出により台座だけとなっていた乃木静子の銅像が、その隣に建立されました。

乃木静子は、薩摩藩奥医師湯地定之の四女として、安政六年(1859)甲突町に生まれました。七人兄弟の末っ子だため、シチと名付けられました。兄定基が新政府の役人となつたことを契機に、一家そろって上京、麹町女学校に入学しました。明治十一年(1878)夏、乃木希典と結婚しますが、西南戦争で連隊旗を奪われ自暴自棄になつた希典の放蕩生活は止むこと無く、また姑寿子の嫁いじめにも遭い、一年半ほど別居生活を送ります。



●現在、館内で展示中

西郷の手紙は、その前年の明治四十四年、姉に宛てた新年の挨拶状です。夫の希典も元気であること伝え、あわせてお歳暮の小包を受け取ったことへのお礼を述べています。軍人の妻として、最後まで夫に従つた静子の凜とした生き方に、薩摩の女性の強さを見る思いで深い感銘を覚えます。



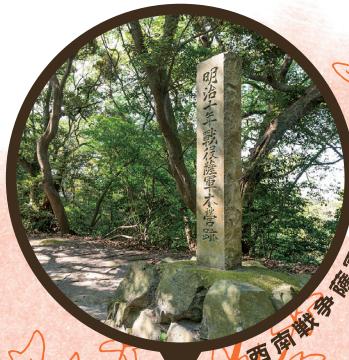
乃木静子の手紙

今回のイチオシ

西郷どんとさるく 温故維新マップ

ふる故きを温ねて維新を知る

3



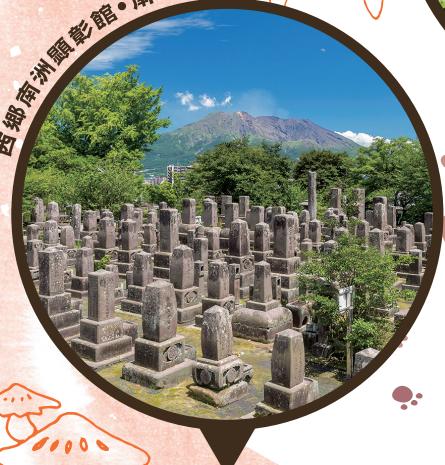
西郷戦事薩軍本営跡
西郷隆盛経焉の地



西郷洞窟



（このまま
地図として
持ち歩けます）



西郷南洲顯彰館・南洲墓地

明治十年二月、皮肉にも自ら手がけた新政府を相手に旗揚げした薩軍は、熊本城を包囲するも軍備に勝る政府軍の圧倒的な銃撃の前に敗退。七月もの間九州各地で転戦したのち、ようやく鹿児島城下にたどり着いたものの、待ち構えていた政府軍を前に、城山の洞窟に立てこもり、最後の抵抗を示しました。

九月二十四日未明、政府軍がいつせいに砲撃を開始すると、薩軍は、討死に覚悟で突進。洞窟を出で太ももに銃弾を受けた西郷どんは、「晋どん、もうここらでよかろう」と、袴をただし別府晋介の介錯によつて、最期を遂げました。

一報を受けた明治天皇は「朕は西郷を殺せとはいわなかつたが」と、その死を惜しまれたといいます。

明治維新に
大きく貢献

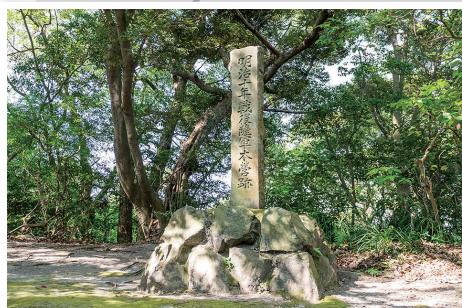
明治維新に大きく貢献した西郷どん。新政府の中でも、廃藩置県の実施などに手腕を發揮しましたが、朝鮮に対する対応をめぐり岩倉や大久保らと対立。役人を辞めて鹿児島に帰ってしまいます。

その頃、扶持を閉ざされ廢刀令などで武士の特権を失った士族らの不満は爆発寸前。西郷どんは、私学校を設立し、不平士族の懷柔に努めました。

ところが、「私学校は政府に反乱を企てるための機關」と疑われ、政府は鹿児島の弾薬庫から秘かに弾薬を運び出しました。追い討ちをかけるように、「明治政府が西郷暗殺を企てた」という噂に暴発した私学校生徒が政府軍の弾薬庫を攻撃。知らせを聞いた西郷どんは「ちょしもうた!」と慨嘆したといわれますが、これが引き金となつて日本史上最後の内乱が勃発したのです。

明治十年二月、皮肉にも自ら手がけた新政府を相手に旗揚げした薩軍は、熊本城を包囲するも軍備に勝る政府軍の圧倒的な銃撃の前に敗退。七月もの間九州各地で転戦したのち、ようやく鹿児島城下にたどり着いたものの、待ち構えていた政府軍を前に、城山の洞窟に立てこもり、最後の抵抗を示しました。

西郷さんが生まれ育ったところを、さるいてみよう！



1 西南戦争薩軍本営跡(ドン広場)

西郷率いる薩軍最後の本営跡地。戦後、市の職員が正午を知らせる空砲を鳴らしていましたから、「ドン広場」と呼ばれるようになりました。

2 西郷洞窟

西郷が最後の5日間を過ごしたといわれる洞窟。新政府軍に追い詰められた薩軍がこの洞窟に立てこもりました。西郷さんが自決したのは、また別の場所です。

3 西郷隆盛終焉の地

明治10年9月24日未明、城山を包囲した政府軍が一斉に砲撃を開始。西郷隆盛は太ももに銃弾を受け、この場所で別府晋介の介錯によって最期を遂げたといわれています。

南洲臺地に眠る
薩軍の志士たち



墓地には、初め西郷隆盛以下40名が葬られていましたが、後に鹿児島県外で戦死した薩軍の遺骨も集めて合計2,023人が埋葬され今の「南洲墓地」として整備されました。



別府 晋介(べっぷ しんすけ)
(鹿児島県立図書館 所蔵)

吉野出身で桐野利秋の従弟。戊辰戦争では奥羽地方を転戦。西南戦争では西郷軍の六番・七番大隊長として熊本城を攻撃。明治10年9月24日鹿児島城山で西郷を介錯したのち自決。



桐野 利秋(きりの としあき)
(西郷南洲顕彰館 所蔵)

薩摩では中村半次郎と称した。維新後、西郷とともに下野。以後鹿児島で私学校運営や西郷派士族の教育などに尽力する。西南戦争では西郷軍総指揮者として奮戦するが、明治10年陣中にて没。



村田 新八(むらた しんば)
(鹿児島県立図書館 所蔵)

幼年時代から西郷を兄と敬いつかえる。岩倉使節団にも加わっていたが、帰国して西郷の下野を知ると、鹿児島に帰り私学校設立に当たった。西南戦争では二番大隊長。城山で西郷の最期を見届けた後、戦死。